



## 令和2年度第2回食育推進評価委員会

# 誰一人取り残さない日本の栄養

### 日本栄養士会は

「健康な毎日」の実現に貢献します。

食の営みのよろこびの中、自己実現を求め、健やかによりよくともに生きるという人びとの願いに応えることを目的に活動しています。

「栄養の指導」で、「健康」を守ります。

管理栄養士・栄養士は、栄養と食の専門職として科学と専門的応用技術に基づく「栄養の指導」によって、人びとの健康を守り、向上させることを主な使命としており、健康づくりや生活習慣病の予防、重病化予防に取り組んでいます。

公益社団法人 日本栄養士会  
理事 阿部 絹子

## 食育基本法成立から15年

**(第1条) 目的** 国民が**生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育む**ことができるようにするため、食育を総合的、計画的に推進する。

## 「誰一人取り残さない栄養・食事はどうあるべきか」

SDGsへの推進、Withコロナの時代を迎え、**栄養は**健康の維持・増進、疾病の予防・治療のみならず、教育・経済・労働・ジェンダー・農業さらに環境等にも多様な形で関係し、**これらを支える役割**になりつつある。

### 生活環境

- ・家族形態の多様化  
ひとり親世帯  
共働き世帯  
生活困窮者世帯等
- ・一人暮らし高齢者

### 社会環境

- ・外食や中食に関する食品事業者の多様化
- ・健康産業の育成

**SDGsの推進  
Withコロナ**

## 「食」をめぐるさまざまな問題が依然として、各分野に顕在化

### 健康・食生活

- ・食塩の過剰摂取や栄養バランスの偏り
- ・若い世代の食の問題の増加
  - 朝食を食べないことがある
  - 主食・主菜・副菜をそろえて食べる割合が低い
  - 自らが調理し、食事を作る頻度が低い
- ・食生活に起因する生活習慣病の増加

### 栄養不良の二重負荷

- ・過栄養と低栄養の問題が混在する  
過栄養が懸念されている人  
(肥満や生活習慣病と、その予備群)  
栄養不良が心配される人  
(やせ、拒食、低栄養など)
- ・若い女性のやせ
- ・壮年期、中年期は生活習慣病や肥満症
- ・フレイル(虚弱)や低栄養状態

### 食料・農業

- ・食料自給率の低迷
- ・農林水産物の利用拡大や農業の重要性への理解
- ・食品廃棄や食料資源のロスの増加
- ・生産から消費までの食の循環への理解

### 食文化

- ・地域の郷土料理や伝統料理、行事食等、日本の伝統的な食文化の保護・継承
- ・食文化の伝承を担う人材の育成
- ・栄養バランスに優れた「日本型食生活」の普及

### 食の安全

- ・食の安全・安心への関心の高まり
- ・マスメディア等の食に関する情報が氾濫
- ・食に関する正しい情報を適切に判断する力

# ●持続可能な開発目標(SDGs)の達成には栄養改善の取組が不可欠

②

持続可能な開発目標(SDGs)には、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現に向けて、17の目標が掲げられている。あらゆる形態の栄養不良への取組は栄養や健康の課題を対象とする「目標2 飢餓をゼロに」「目標3 すべての人に健康と福祉を」をはじめ、全ての目標の達成に寄与し得る。

## 目標2 飢餓をゼロに

飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する

## 目標3 すべての人に健康と福祉を

あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する

栄養課題への取組は、あらゆる年齢(全ライフコース)の人々の栄養状態を改善・維持し健康増進に繋がるだけでなく、教育や勤労等の様々な社会活動を支え、社会全体の発展にも寄与する。

個人の問題ではなく、**社会全体**の問題として捉え、個々の問題への対応でなく、**総合的に**対応するための**社会環境**の整備が重要となる。

## Withコロナの時代 新しい生活様式の中で栄養改善は益々重要な課題

外出の規制や食糧の生産や食品の流通力の低下、さらに消費の偏りなどから普段の食事が困難になることも問題であり、栄養バランスの崩れなどに対応するための**栄養の指導が重要**になる。

# ●個人の主体的な食育を支える社会環境

③

## 無関心層の行動変容へのアプローチ

- 地域の健康課題に応じ**科学的根拠に基づいた**栄養・食生活対策の展開

### 行動意図（やる気）

個人の情報  
知識・態度

ハイリスクアプローチ  
との組み合わせが重要

### 行動を**実施**・効果

個人の生活習慣  
食生活・運動・喫煙

### 周囲の人からの**影響**

周りの環境・習慣  
(家族・仲間)  
社会通念

**介入効果の高い  
ポピュレーション  
アプローチ**

生活習慣は自分だけで決めていない  
無関心層へのアプローチ

## 多様な関係者のつながり・協働

様々な経験を通じて

**「食」に関する知識と選択する力**  
を習得し、健全な食生活を実践する

## ●個人が主体的に取り組む食育

意識の向上  
知識の習得

行動の変容  
習慣化

### ●食育を実践する場

家庭・学校・幼稚園  
保育所・認定こども園

### ●地域における食育

住民主体の通いの場

**情報の発信力強化・産学官の連携  
「新しい生活様式」への支援**

## ●個人の食育を支える社会環境

## ●地方自治体

保健師等の専門職やボランティアと連携し、地域における健康づくりや栄養・食生活政策の企画・実施・評価を行っている。

## ●学校

学校給食の運営や、給食や農業・漁業体験等を題材とした栄養バランスのとれた食事や食文化等の教育を行っている。

## ●保育所等

子どもの栄養管理や給食の運営のほか、他職種等と協力して子どもの発育・発達を支えている。



## 公益社団法人 日本栄養士会

## ●病院

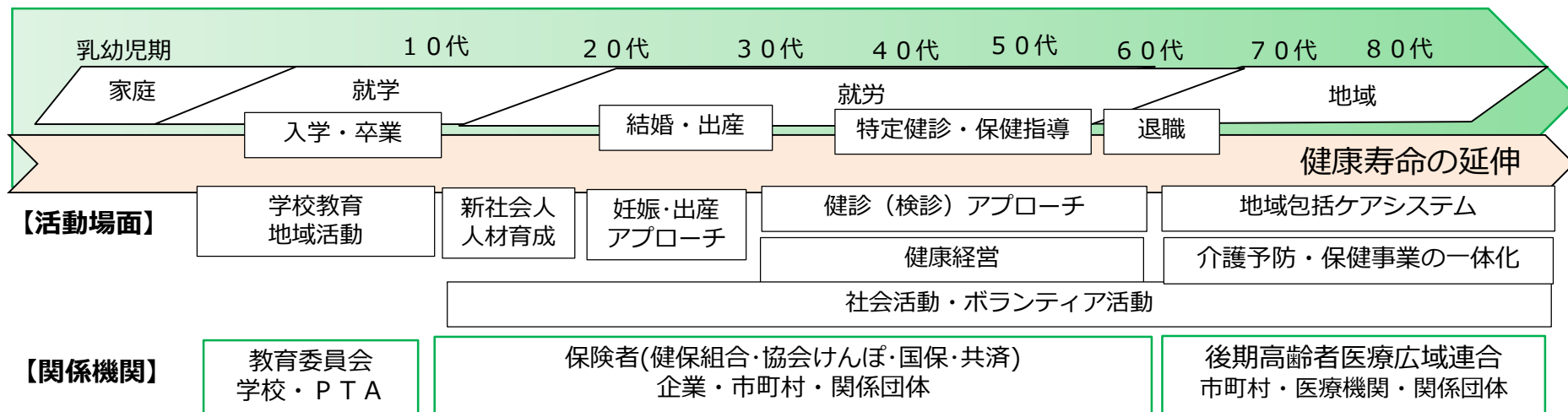
医師・看護師・薬剤師等と連携し、患者の栄養管理や病院給食の運営を行っている。

## ●高齢者施設

看護職員や介護職員等と連携し、高齢者の栄養ケア・マネジメントや給食の運営を行っている。

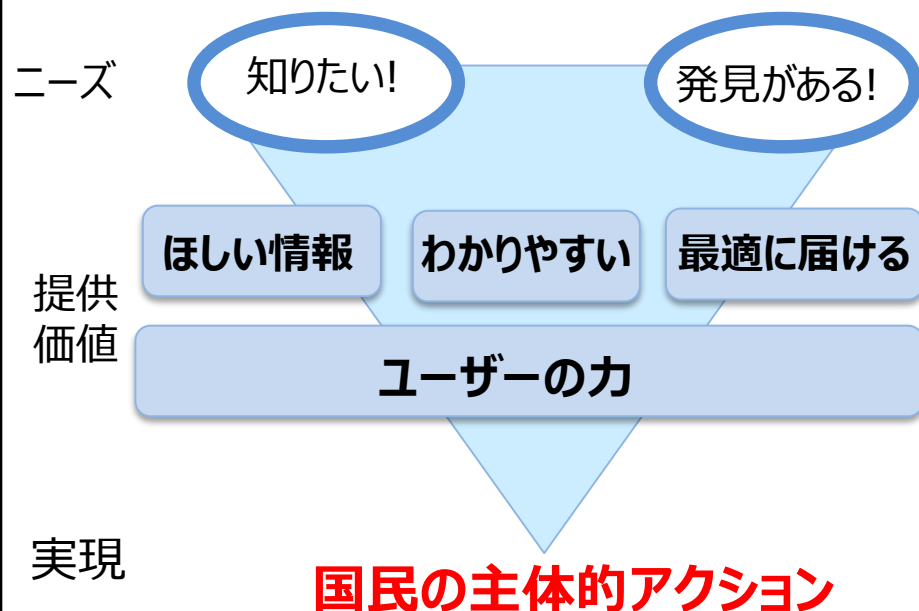
## ●その他の現場

そのほか、自衛隊、刑務所等にも配置、民間企業や研究・教育機関等、非常に多岐にわたる。



栄養課題への取組は、あらゆる年齢(全ライフコース)の人々の栄養状態を改善・維持し健康増進に繋がるだけでなく、教育や勤労等の様々な社会活動を支え、社会全体の発展にも寄与する。

情報発信における提供価値フレーム



国民ニーズを中心とした  
目的と手段を明確にした広報の視点

視点 1  
不安に寄り添う

国民の意識調査やインターネットの検索行動などから国民が抱えている不安を可視化し、国民のニーズに寄り添う視点

視点 2  
ユーザーフレンドリー

政府のHPはユーザーフレンドリーではなく専門用語も分かりにくい。ストレスフリーに情報を取得してもらう視点

視点 3  
発信からコミュニケーションへ

政府からの一方的な発信ではなく国民のニーズを踏まえた「コミュニケーション」広聴。ストレスフリーに情報を取得してもらう視点

全世代型社会保障に関する広報の在り方会議 報告書  
令和2年7月22日 全世代型社会保障に関する広報の在り方会議

「Withコロナ」時代におけるニューノーマルを踏まえたデジタル社会の加速化

見やすさ・聞きやすさの向上

- ・「親しみ」を感じるコンテンツの作成  
ターゲットが好む言い方や画像・映像を研究し、寄り添う表現で作成・デザインの改良  
スマートフォンベースでの画面制作

効果な情報拡散・持続可能体制整備

- ・メディアの開拓・インフルエンサーの活用
- ・草の根情報発信
- ・分析の徹底と共有（個別メディアの定量・定性データの分析と共有）

**管理栄養士・栄養士が提案する  
「#予防めし」**

免疫機能を低下させないで感染症の予防に役立つ食事  
2020年夏の「予防めし」は、継続して適正な食生活を送るための一助となるような日々の食事例を具体的に伝えるために、管理栄養士・栄養士が自慢のレシピと食事をInstagramで提案しています。

**LET'S TRY WEB版  
「栄養力診断」**

あなたの栄養力を気軽に試せるWEB版！  
WEB版「栄養力診断」気軽に楽しく「栄養」を学べる検定タイプのコンテンツ。あたりまえかも知れないことを知ることって、実はとても大切なこと。実際の食事で実践しませんか。

**栄養の日**

たのしく食べる、カラダよろこぶ

8/4 栄養の日 8/1-7 栄養週間

栄養のことが  
わかる、楽しくなる

栄養 Wonder



- 楽しく食べて、未来のワタシの笑顔をつくるきっかけの日  
全国の管理栄養士・栄養士とともに、日本中のみなさんの「栄養を楽しむ」生活を応援！

**NU+読む栄養補給 ニュートス**

毎日に栄養（Nutrition）をプラスNU+（ニュートス）は、食でカラダを健やかにするWEBマガジン  
NU+では、次の日の朝食に取り入れられるアイデアから、カラダのお悩みを解決するHOW TOまで、栄養に関するさまざまな情報を発信していきます。すべての情報は専門的な知見から管理栄養士・栄養士が監修し、信頼できるものだけをお届けします。読むだけで、ちょっと栄養補給ができるように。そんな想いを込めて運営していきます

- **視聴覚障害者への配慮** ・ウェブアクセシビリティ・手話通訳手配・点字広報・声の広報
- **多言語への配慮** ・対象市場を限定し言語を設定・単なる日本語翻訳でなく、対象市場に響く翻訳
- **ネット情報弱者への配慮** ・メディアの特定の理解、テレビ、ラジオとのメディアミックス・出版物の配布